

二本松市総合計画（案）に関するパブリック・コメント提出意見及び  
意見に対する市の考え方について

| No. | 項目（ページ） | 提出意見   | 提出意見に対する考え方  |
|-----|---------|--|--|
| 1   |         | <p>懇談会等で説明をしていただきたい。10年に及ぶ計画について意見を聴取するにはやはり説明会、懇談会などが必要ではないでしょうか。広報に載っているのは筋だけ。あとはネットを見て、役場に来て、では全体を見る人は少ないと思います。完成が少し遅れてもいいではありませんか。</p> | <p>次期総合計画策定するにあたり、令和元年7月に各支所あわせて市内全6カ所でタウンミーティングを実施し、一般市民の方々をはじめ、各行政区の区長や各種団体の方々などにご参加を頂き、これからの二本松市の飛躍と可能性について、長期的な視点から、市民の皆様の豊かな見識と貴重な経験をもとに、多くのご意見ご提言をいただきました。令和2年度の計画策定当初のスケジュールでは、各地区における懇談会、子ども議会を開催し、幅広く市民の皆さまの意見をいただく機会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、やむを得ず断念したところです。なお、新型コロナウイルス収束時期の見通しが見えない状況の中で、市の最上位計画である総合計画の完成を延期し、空白期間を生じさせることは、市政運営にとっても好ましくないと判断し、今年度の策定としました。なお、懇談形式ではなく、各家庭に配布される市広報に掲載したことで、幅広く市民の方の目に触れる機会が増え、アイデアや意見がいただけると考えたところです。</p> |

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 2 |  | <p>いくつかのところで「持続可能な二本松市をめざします」といったような表現が見られますが、「住みよい」まちづくりを行えば自然に二本松市への愛着などが湧いてくると思います。読んでいくと市民生活より「二本松市」が先にくるような気がして本末転倒な気がしてきます（つくられた方はそんなことを考えていないことと思います）</p> | <p>人口減少・少子高齢化は依然として深刻さを増しており、40年後には、人口は現在の半分ほどに減少していくと予想されています。これは、二本松市だけの問題ではなく、全国の自治体のほとんどが抱えている問題です。二本松市を維持していくため、あらゆる手立てを講じ、かじ取り役を市が担うとともに、市民一体となって取り組まなければならない問題であり、“オール二本松”という意味でその表現としました。</p> |
| 3 |  | <p>新5ヶ年計画にあった「産科医確保に取り組みます」はどうなったのだろうか？ 今回の計画には載っていない。（「主要事業ではなかった」ということで触れていないのか？）前回計画の総括も必要ではないのか。</p>   | <p>前総合計画から5年が経過し、医師の確保は、産科医だけではなく、地域のかかりつけ医（内科医）の高齢化が進み、地域医療機関の根幹にも影響を及ぼしかねない状況となってきていることが課題として浮き彫りとなってきました。市民生活に直結する医療体制を確保するという意味では、産科医だけに囚われず地域医療体制を維持できるよう努めることが重要と考えています。</p>                    |
| 4 |  | <p>具体的な重点政策を打ち出してみてもどうか<br/> a 人口減少対策、<br/> b 電気、農産物などの地産地消をすすめる<br/> （温暖化防止にもなります）<br/> c 少人数学級を実現してはどうか。</p>   | <p>次期総合計画では4つの重点事項を掲げており、ご指摘の項目は以下の重点事項に該当しています。具体的には、基本目標の以下の取り組み事項を参照ください。<br/> a：人口減少対策（重点事項4）<br/> b：地域のちから（重点事項2）<br/> c：こどもの未来（重点事項3）</p>   |

|   |      |  |   |
|---|------|--|---|
| 5 | P127 | <p>「駅周辺については、にぎわいのある…」とありますが実態とはかけ離れてきていると思います。ゾーニング、コンパクトシティなどの言葉が出てきますが、トップダウンで住民に構想を押しつけてもいいものでしょうか？これらの構想と市民の考え方はまだまだかけ離れているのではないのでしょうか？住民、業者等々懇談会を積み重ねていく必要を感じます。</p> | <p>急激な人口減少・少子高齢化が進む中で、今後のまちづくりにおいては、生活支援機能を集約したコンパクトな市街地形成を目指すまちづくりが求められると考えますが、まちづくりについては、今後とも市民の皆さまからのご意見等をいただきながら、取り組んでいきたいと考えています。</p>  |
| 6 |      | <p>「E B P M」「Society5.0」などというは、よく考えれば今までも考えてきたことで、突然のはやり言葉で何でも済ませてしまおうとしないでいただきたい。「SDGs」は施策のチェックのためには必要ですね。</p>  | <p>「E B P M」とは証拠に基づく政策立案ということであり、特に人口減少が急激化している今、限られた資源を有効活用し、市民に信頼される行政を展開するためには、無駄使いは許されない時代となり、「E B P M」の考え方は必要不可欠な考え方となっています。また、「Society5.0」は、2016年1月に政府が策定した「第5期科学技術基本計画」のなかで提唱されたものであり、今回の計画の中に新たに取り入れました。なお、施策のチェックについてはPDCA (Plan&gt;Do&gt;Check&gt;Action) サイクルを活用しながら目標実現に向けて取り組んで参ります。</p> |
| 7 |      | <p>「コロナ禍」ですからインバウンドも大切ですが、地元産業・農業の振興が今まで以上に大切</p>  | <p>二本松市の産業の根幹を担う農業の振興については、今後も真摯に取り組んで参ります。</p>   |

|    |     |  |  |
|----|-----|--|--|
|    |     | な課題です。ぜひご賢察を。  |  |
| 8  |     | 杉内多目的広場に公認サッカー場を造ろうとしています。過疎債を使うそうですが、実現後の維持管理費もかかります。コロナ禍で大変な現在、果たして必要な事業でしょうか？ | 子どもから高齢者まで、スポーツに親しむ機会を拡大し、利用者の増加と地域の活性化につなげるとともに、市民の健康な心と身体を育むことが出来るよう事業を実施して参ります。 |
| 9  | P35 | 些細なことですが、下から9行目「連担」とはどういう意味でしょうか？  | ご指摘いただいている箇所につきましては、「二本松地域に連なる智恵子の杜公園等の丘陵地は～」に修正しました。                              |
| 10 |     | 年度の表示について「西暦（元号）」に統一していただきたい。特に表とグラフで別々になっている。                                   | 年度表示については、精査した上で、統一した表示としました。  |
| 11 | P65 | 下から5行目「世界に誇れる存在としていく必要」はありません。市民として安全に暮らしていければ充分ですから。                            | ご意見として承ります。  |